



練馬区立石神井東小学校

令和3年度

学校便り

10月号

校長 赤尾 眞司

今、学校では

校長 赤尾 眞司

秋分の日が過ぎて、少しずつひんやりとした秋気が感じられる季節となりました。9月は、緊急事態宣言の延長に伴いまして、午前授業、給食後下校という学校生活でした。下校後の子供たちの生活はいかがでしたでしょうか。校庭開放にはたくさんの子供たちが遊びに来ていましたが、感染予防のために外出や接触を避ける生活を心掛けていた子供たちも多かったのではないのでしょうか。

9月30日で緊急事態宣言は解除になりました。本校も10月4日(月)からは、通常の時程に戻り、午後の授業が始まります。教育活動もこれまでできなかったことを少しずつ再開していく予定です。しかし、感染症対策はこれからも継続していくことが必要です。学校では、これまでと同様に、間を開ける、マスクを着用する、手洗いをする、換気をする、毎日の検温に確実に取り組んでいきます。また、登校の判断として、児童本人に風邪症状がある場合はもちろん、その同居家族に発熱等の風邪症状がある場合にも、学校への登校を見合わせるようにしてください。感染不安で登校をしない場合には、担任に連絡してください。児童に対する学習支援について相談させていただきます。保護者の皆様には、継続して感染症対策へのご理解とご協力をお願い致します。

10月9日(土)は土曜授業日になります。学校公開を実施する予定です。感染予防のために密を避けての参観をお願い致します。各ご家庭1名の参観をお願いします。また未就学児の来校はお控えいただきますようお願い致します。詳しくは本日付の『学校公開のご案内』をご覧ください。今後は、11月に運動発表会を、12月の土曜授業日は道徳を中心にした授業公開の予定です。

9月に行った全校朝会では、子供たちの夏休みの自由研究を紹介しました。各学級に飾られていた自由研究を見せてもらいましたが、工作、観察、研究等、様々な形で子供たちが取り組んだ作品を見ることが出来ました。今年はオリンピック・パラリンピックに関係する体験やまとめもありました。

自由研究の作品を、何人かの人に全校朝会で紹介してもらいました。オリンピックの開催国を調べた2年生は、自分で作った世界地図上で、場所を示す旗を作るのが大変だったと話してくれました。石神井川の昆虫を調べた3年生は、捕まえないように気をつけたこと、動くので写真を撮ることが大変だったことを話していました。紫キャベツ液の色は変化することを調べた4年生は、紫キャベツの液を作るのが大変だったそうです。自分が車椅子バスケットを体験したことをまとめた5年生は、体験を伝えるために写真を使い、低学年にもわかるようにやさしい言葉でまとめました。すみだ水族館で見た金魚について調べた6年生は、自分が知りたいと思った生まれ方や金魚の種類についてまとめました。課題を見つけ、調べ、学び、まとめていく形を発表した6年生は、色分けをして項目で分けてまとめるとわかりやすくなると思いました。

各学年の発達段階に沿って、自分で課題を見つけ、考え取り組んでいく活動は、子供たちの考える力を伸ばすことにつながります。授業でもこのような課題解決型の授業展開を大切にして、各教科で取り入れています。学習は教わったことを覚えることだけではありません。もちろんそのような学びも大切ですが…。子供が自ら問い、調べ、表現する。そのような過程を通して知識を身につけ確かな理解につなげることができると思います。自由研究は、自分の知りたいこと、やってみたいことからスタートし、自身で完結させ発表できた大切な作品です。夏休み中に限らずに、日常の学習や生活の中でも自身の興味・関心を広め、追究していく姿勢を身に付けさせたいものです。

もう一つは4月に実施した消防写生会の表彰を行いました。今年度は1年生4名、2年生5名が賞状をいただきました。みんなよく頑張りました。